

6-4. 比喩（その他）

『石』

〈イザヤ書 28 : 16〉 p.978

石を『信ずる者はあわてることはない』

→なぜ偶像崇拜をするのか？エリヤとからすのパンで神様が嫌うと習わなかったか？

〈出エジプト記 20 : 3~4〉 p.102

あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。

→最初に言った最重要項目

偶像＝神様より愛するもの

〈ペテロ第一の手紙 2 : 4~8〉 p.367

主は人には捨てられたが、神にとっては選ばれた尊い生ける石である。

主＝石

旧約時代：主＝神様

新約時代：主＝神様・イエス

試みを経た石＝イエスもサタンの試みを受けた 〈マタイによる福音書 4 : 1~11〉。

隅のかしら石＝礎石。家を建てる上で、もっとも重要な位置におかれる。

※イエスは大工だったので、自分を作ることを、家を建てることにたとえた 〈マタイによる福音書 7 : 24~27〉。

家づくりらの捨てた石＝専門家（律法学者やパリサイ人）は捨てたが、学識のない人（異邦人）は受け入れた。

イエスは大工の息子という、当時は貧しく社会的身分の低かった人で、田舎者だったのでユダヤ人はイエスをキリストだと分からなかった。イエスは聖書の専門家である律法学者やパリサイ人に先に御言葉を伝えて早く世界中に述べ伝えたかったが、できなかった。一番弟子ペテロでさえ、3年経ってイエスが十字架にかけられる寸前にイエス＝キリストだと分かった。ユダヤ人にとってイエスはつまずきの石、妨げの岩となってしまった。

Q：なぜイエスは石にたとえられたか？石の性質とは？

イエスは石のようにかたい信仰を持っていた。

〈ヨハネの黙示録 2 : 17〉 p.388

白い石＝イスラエルでは裁判に勝った人には白い石を、負けた人には黒い石を与える風習があった（→時代性）。

「これを受ける者のほかだれも知らない新しい名が書いてある」＝メシアが最初に自分がメシアだとわかる。

『パン』

〈ヨハネによる福音書 6 : 35〉 p.146

イエス「わたしが命のパンである。」

→イエスをかじるのか？

〈ヨハネによる福音書 6 : 68〉 p.147

ペテロ「永遠の命の言葉を持っているのはあなたです。」

→イエスだけが命の御言葉を持っている。

〈ヨハネによる福音書 6 : 1~14〉 p.145

パン5つと魚2匹で5000人が満腹し、パンくずが12のかごにいっぱいになった。

→有り得るか？某映画ではそのままイエスの奇跡として表現されている。

イエスはピリポを試そうとした、とあり、人々はイエスを預言者（＝神様から言葉を預かる人）だと言っている。

パン屋さんだとは言っていない。

肉的な食事＝パン、霊的な食事＝御言葉

すなわちパン＝御言葉。人々は御言葉を聞いて心が満腹になった。

Q：パンくずが12のかごにいっぱいになった、とは？

→12使徒もイエスの御言葉を聞いて、パンくず程度の御言葉を伝えられるようになった。

〈マタイによる福音書 14 : 15~21〉 p.23

同上

〈マタイによる福音書 15 : 32~39〉 p.25

パン7つと魚少しで4000人が満腹し、パンくずが7つのかごにいっぱいになった。

〈アモス書 8 : 11~14〉 p.145

御言葉のききんが起ると人々はさまよい、はせまわる。また気を失う。

御言葉を聞いて人々は満たされる。

〈マタイによる福音書 16 : 5~12〉 p.26

パリサイ人とサドカイ人とのパン種を、よくよく警戒せよ。

パン種=教え

パリサイ人とサドカイ人はいつもイエスの教えに悪口を言ったので、それに惑わされないように気をつけなさい、と。

わざわざパン種とたとえを使ったのは誰が聞いているかわからないから。イエスはいいことをしようとしていたのに、それをねたむ人が多くて、比喩で語るしかなかった。

『塩』

〈マタイによる福音書 5 : 13〉 p.6

あなたがたは地の塩である。

イエスが弟子たちに言った言葉。塩のような人になりなさい、と。イエスも塩のような人だった。

塩とは？

- ・ 必要不可欠→必要不可欠な人に
- ・ 味をつける→味のある個性的な人に
- ・ 腐らせない→いつも前向きに
- ・ やわらかくする→固定観念が強くなく、柔軟で、人を受け入れられる人に

〈コロサイ人への手紙 4 : 6〉 p.318

塩で味つけられた、やさしい言葉を使いなさい。

→その人に必要不可欠で、個性を引き出し、前向きに、柔軟になるような言葉を使いなさい。

『もみがら』

〈詩篇 1 : 4〉 p.75

悪しきものはそうではない、風の吹き去るもみがらのようだ。

もみがら=内側はないのに、外側を飾る人

分かって聖書を読まないで誤解してしまう。イエスの周りには取税人や遊女など、社会的身分の低い人が多くて、人々は卑しい人だと誤解した。イエスは人のモデルとして送られた。でも最初から完璧ではなかった。大金持ちで社会的身分も高く、何一つ不自由しない暮らしをしていたら、貧しく虐げられていた人たちの気持ちは分からなかっただろう。いまの時代の再臨主もおそらくそのような人だから、イエスを研究したら再臨主も分かる。